

# 医療相談室だより

令和5年 10月 (No. 379)  
令和5年 10月1日発行

秋分の日を過ぎ、過ごしやすい気温になりました。

今年はインフルエンザの流行が例年より早く到来しています。

今年もコロナウイルスと並行して予防に努めてまいります。

ご協力をお願いいたします。



## 内科病棟の取り組みについて ACP（アドバンスド・ケア・プランニング）

当院内科病棟は医療療養型病棟となっており、急性期治療を終えた後の継続的な入院加療を必要とする方が多くご入院されています。一般病院からの転院、当院内科医の訪問診療先の在宅や高齢者施設からの入院、ご家族様の休息も含めたレスパイト入院など様々な方がご入院されています。退院先も患者様に合わせて主治医、病棟職員、リハビリテーション職員、栄養士、相談員が患者様、ご家族様とケアマネージャーをはじめとした地域支援者と相談の上、調整を行っています。施設やご自宅に退院される方、中には退院後に新たに介護保険サービスを使用し、訪問診療や訪問看護の調整を行うケースもあります。一方でご高齢な方が多いため終末期を迎えられている方もいらっしゃいます。そこで今回は終末期を迎える患者様への内科病棟の取り組みについてお伝えさせていただきます。

アドバンス・ケア・プランニング（以下 ACP）とは、人生の最終段階で受ける医療やケアなどについて、患者本人や家族などの身近な人、医療従事者などが事前に繰り返し話し合う取り組みのことです。

内科病棟では患者様が終末期を迎えた時にパンフレットを用いて終末期の身体の変化について説明したり、患者様やご家族様が終末期ケアに望むことをお聴きしております。ご家族様にとって患者様がどのような人だったか、患者様がどのようなものを大切にしていたか話を聞き、ご家族様とともに患者様の人生を振り返りどのような最期を迎えることを望まれるか一緒に考えさせて頂いております。

これまで実際に内科にご入院されていた方の中には、家族写真をお持ちいただいたり好きだった音楽を流したり、最期の時に着用して頂くための好きだった洋服を持って来るなど様々な方がいらっしゃり、患者様やご家族様の笑顔がみられていました。

残された時間の中で少しでも患者様やご家族様が安心や幸せを感じられるようお手伝いしていけたらと考えておりますので、終末期の医療ケアに関するご希望、ご不安などございましたら病棟職員及び担当相談員までお声がけください。ACPについての詳しい情報は厚生労働省のホームページにも詳しく掲載されているためご参照下さい。

## e(いい)まちサミット 忘れても心は生きている認知症 ～大切な人との日々～

認知症について関心のある方がどなたでも参加できるイベントのご案内です。

令和5年11月4日（土）13:30～15:30

会場：八王子市中央図書館 地下展示室 八王子市千人町3丁目3-6

第一部 基調講演 三橋良博氏

<三橋良博氏 プロフィール>

『認知症の人と家族の会 神奈川県支部 世話人』

『若年性認知症家族会・彩星（ほし）の会 世話人』

若年性認知症と診断された妻と認知症の両親を仕事をしながら介護。認知症を隠すことなく周りに伝えることで多方面からの支援を受けられたという自らの体験から、同じ境遇の家族や支援する人に役立つならばと、情報発信や講演会などの活動を全国各地で行われている。

第二部 トークセッション ～八王子市内の家族会を主宰する「チーム KNOW」の皆さまと～

【申し込み方法】

定員：80名 先着順 参加費無料

メールまたはFAXでお申込みいただけます。申し込みの場合は

「認知症のイベント・氏名・電話番号」を記載の上送信してください

メール：[koureishahukusi-ninchisho@city.hatiouji.tokyo.jp](mailto:koureishahukusi-ninchisho@city.hatiouji.tokyo.jp)

FAX：042-624-7720

問い合わせ先 八王子福祉部高齢者福祉課：042-620-7244



## 相談室より

ソーシャルワーカーの勤務は、平日月曜日から金曜日です。事前に電話で相談日時をお約束することも可能です。また、当番者の出勤がある土曜日もあります。ご用のある方は事前に、ご連絡いただくよう、よろしくお願いたします。

東京都八王子市美山町1076  
医療法人社団 光生会 平川病院  
院長 平川 淳一  
電話 042(651)3131

医療相談科  
荻生 下山 木村 市川佳奈  
石川 菊谷 市川浩之 天野

病院ホームページもご覧ください

